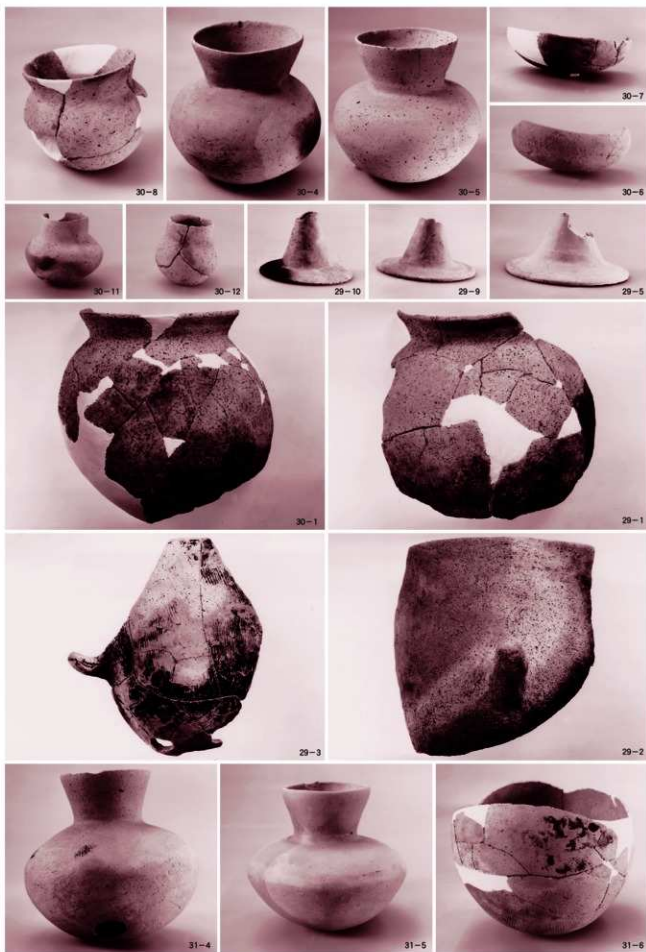
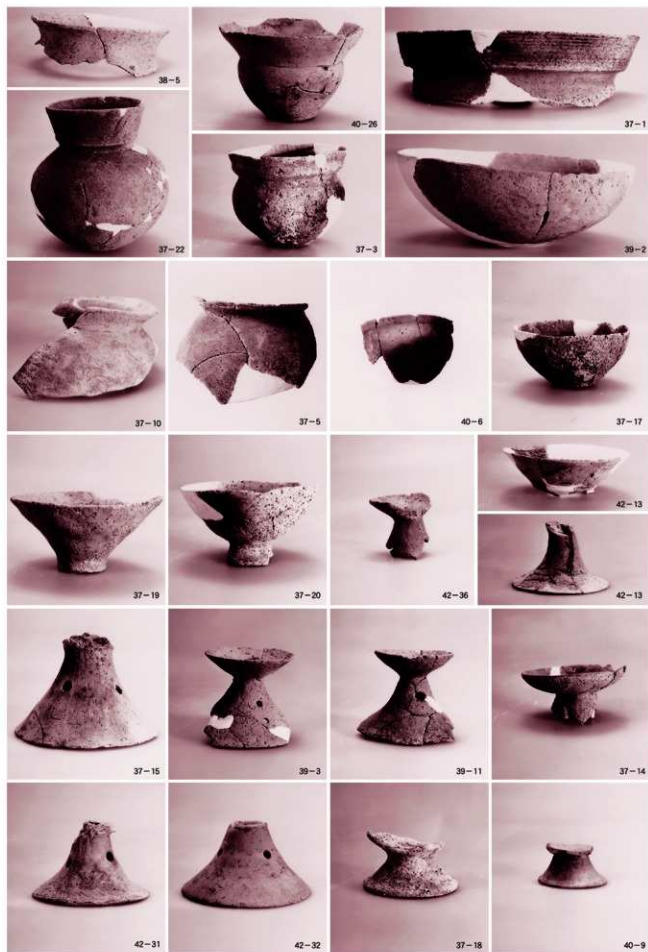
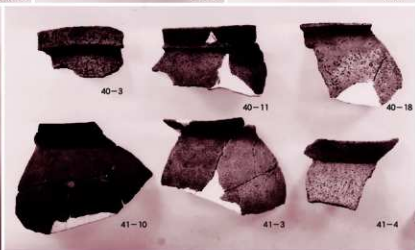
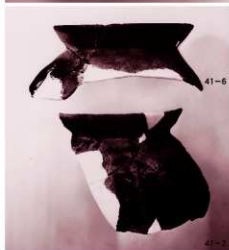
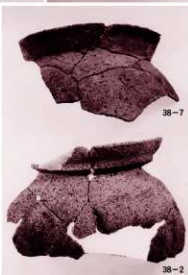
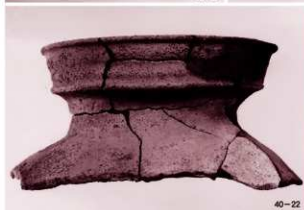














54-5

54-3



55-4

54-2

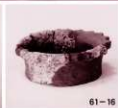
54-4



55-2

55-1

60-8



61-16



61-18



56-5



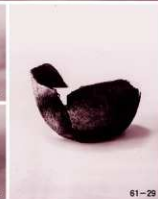
61-23



61-30



56-6



61-29

56-17



71-6



71-6



71-6



58-4



71-1



71-1



63-9



71-3



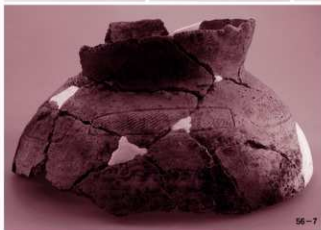
71-2



61-21



58-2



56-7



56-19



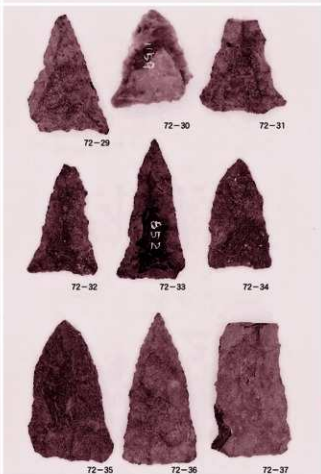
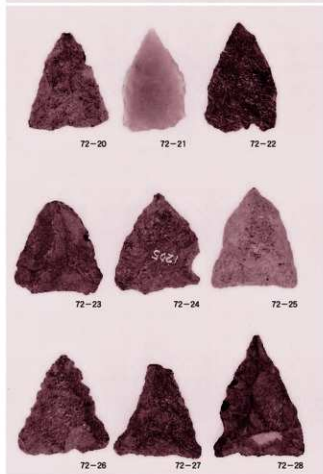
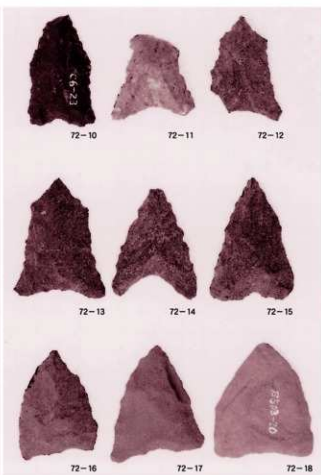
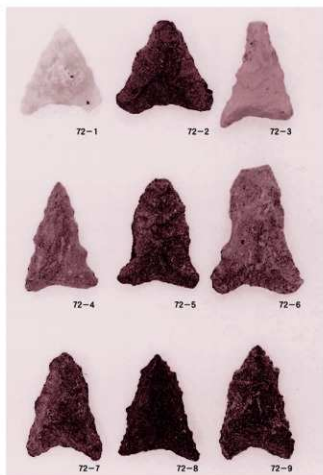
56-1

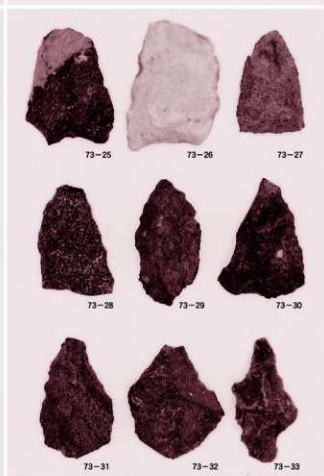
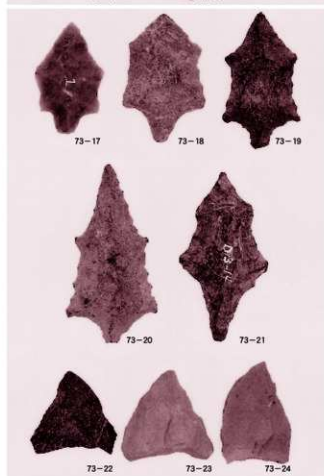
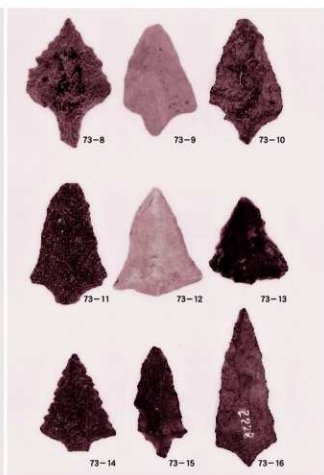
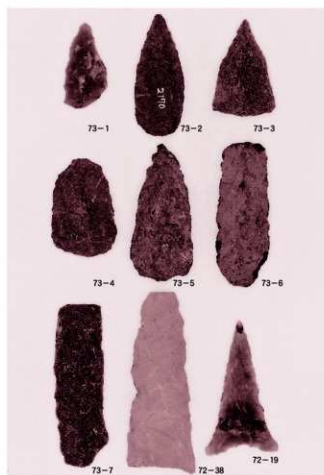


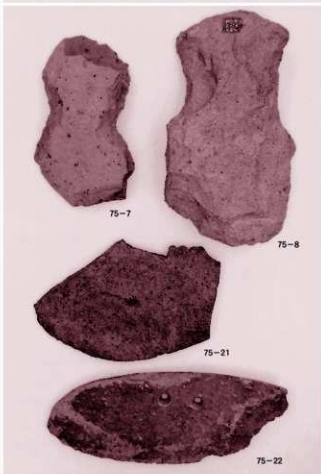
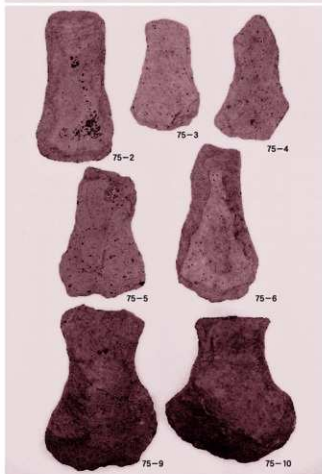
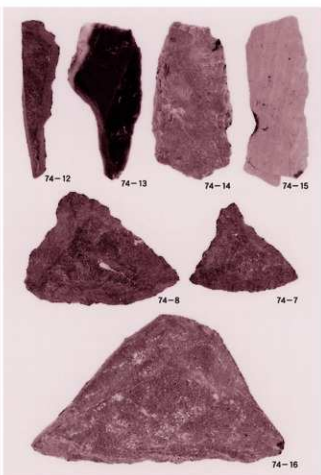
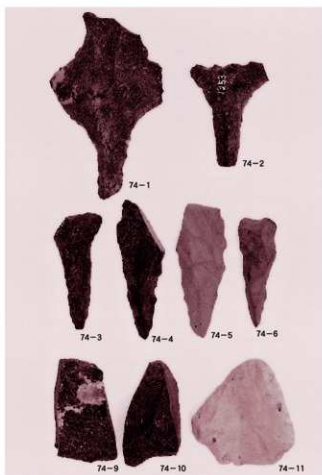
56-10

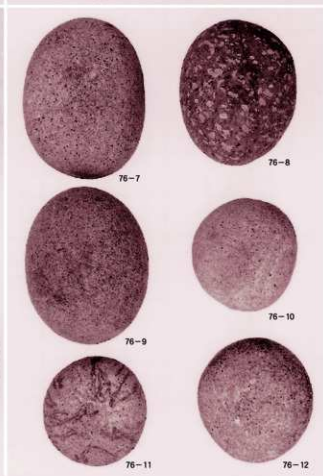
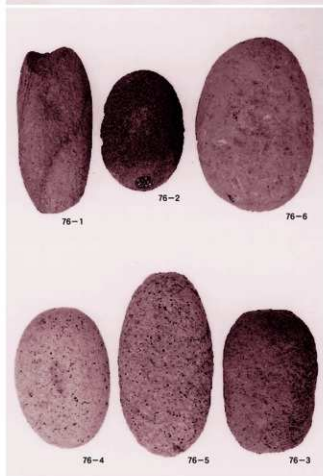
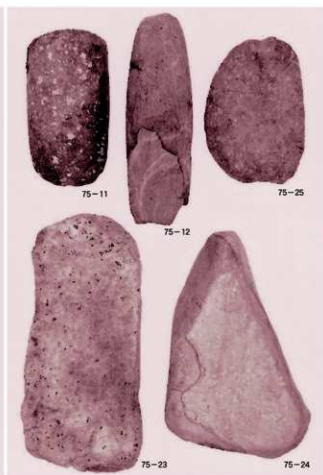
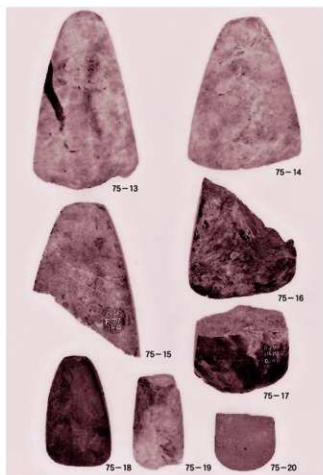


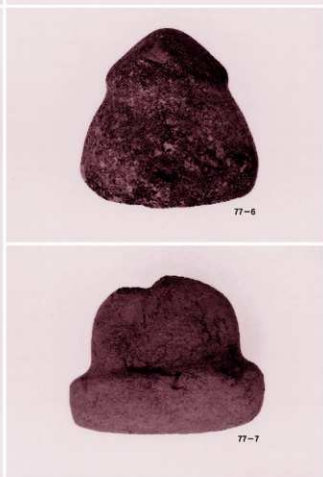
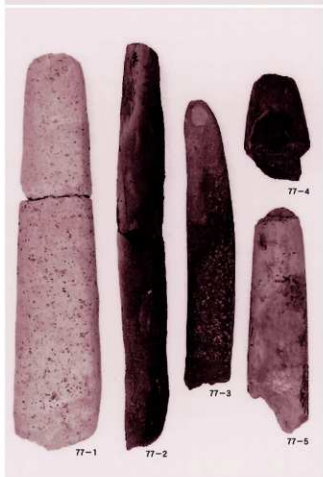
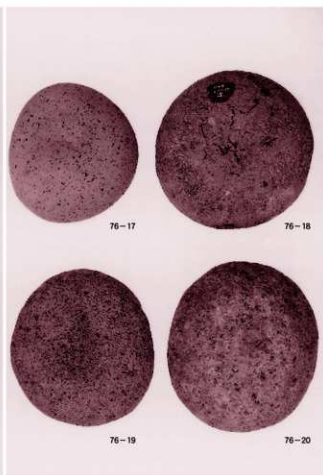
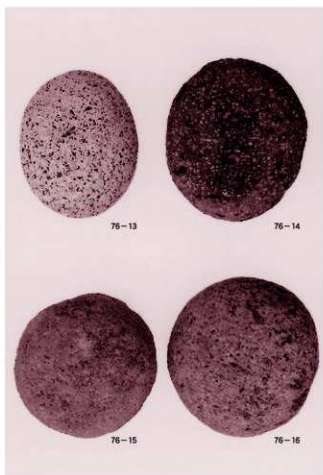
56-15

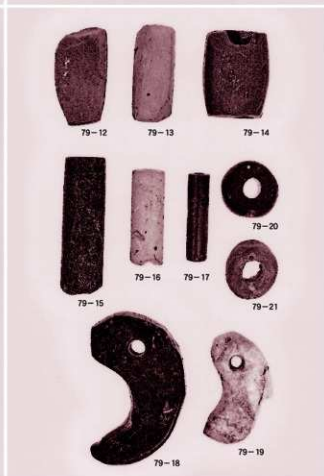
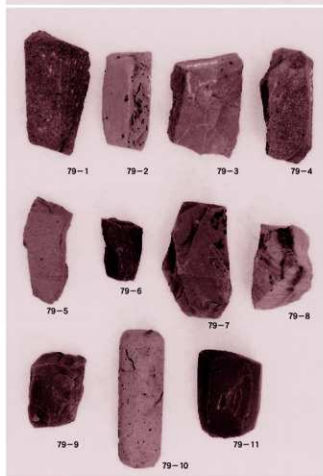
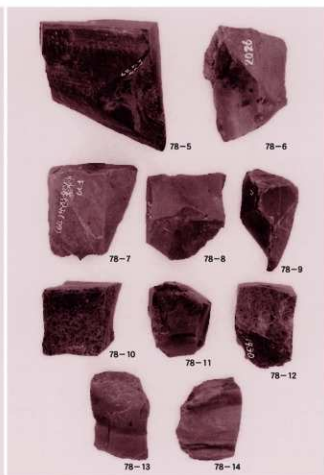
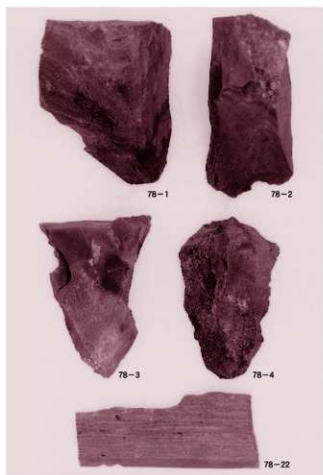












報告書抄録

ふりがな	ふなよせふくしまとおりにせき
書名	舟寄福島通遺跡
副書名	国営九頭竜川下流土地改良事業に伴う調査
巻次	
シリーズ名	福井県埋蔵文化財調査報告
シリーズ番号	第120集
編著者名	赤澤徳明・山本孝一・田中勝之・バレオ・ラボ分析グループ
編集機関	福井県教育庁埋蔵文化財調査センター
所在地	〒910-2152 福井県福井市安波賀町4-10 TEL 0776-41-3644
発行年月日	2011年03月31日

ふりがな 所収遺跡名	ふりがな 所在地	コード		北緯 °' "	東経 °' "	調査期間	調査面積 ㎡	調査原因
		市町村	遺跡番号					
ふなよせ 舟寄 ふくしまとおりにせき 福島通遺跡	ふくいけんさいし 福井県坂井市 まるおかちようふなよせ 丸岡町舟寄	18210	13026	36° 8' 51" ~ 57"	136° 14' 27"	20050405 ~ 20061125	4,200㎡ (17年度 2,400㎡ 18年度 1,800㎡)	国営九頭竜 川下流土地 改良事業 (パイプライン 敷設地)

遺跡名	種別	主な時代	主な遺構	主な遺物	特記事項
舟寄福島通遺跡	集落	縄文時代 弥生時代 古墳時代	平地式住居2棟 掘立柱建物9棟 井戸3基 土坑・溝・ ピット群など	縄文土器 弥生土器 土師器 初期須恵器 石器・石製品	縄文時代・弥生時代中 期と後期・古墳時代と おおまかに5時期の遺 跡と考えられる。

要約	縄文時代は9基の埋設土器と住居と想定されるピット群とその周辺から多量の土器が出土し、晩期中葉の限られた時期に限定できる集落である。弥生時代中期には2基の方形周溝墓が離れて検出され、その間にも散漫と遺物が出土し、中期後葉の墓域の一部と考えられる。弥生時代でも後期は調査区の北側に遺構が偏る集落の一部と考えられる。時期は法仏式である。玉作関連遺物はその出土している地点や技法から弥生時代後期のものと考えられる。古墳時代の遺構は弥生時代後期とは異なり、南側に偏り、掘立柱建物と井戸・土坑などである。井戸は古墳時代中期から後期にまたがるもので、本県でも本遺跡周辺では類例の少ない時期のものである。
----	---

福井県埋蔵文化財調査報告 第120集

舟寄福島通遺跡

— 国営九頭竜川下流土地改良事業に伴う調査 —

平成23年3月15日 印刷

平成23年3月31日 発行

発行 福井県教育庁埋蔵文化財調査センター

〒910-2152 福井市安波賀町4-10

印刷 三陽印刷 株式会社

〒919-0474 坂井市春江町西太郎丸14-36
